令和5年度 施策事前評価シート

施策責任者所属	福祉保険課	電話番号	直通	989-5512	
基本目標	いきいきとした暮らしを支える　優しいながいずみ				
政策	認め合い支え合うまちの実現	施策分野	地域福祉		
施策分野の総事業費	前年度決算額	118,883　千円	今年度予算額	131,375　千円	

施策の進捗状況

	成果指標名称	年度	現状値	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年	単位	進捗評価
1	普段生活する中で特に悩みや不安を感じていない町民の割合	目標値		15.0	15.2	15.4	15.7	16.0	%	X
		実績値	14.8	19.4	47.0					
2	ボランティア活動等をしている町民の割合	目標値		9.1	9.3	9.5	9.8	10.0	%	A
		実績値	8.7	6.5	10.0					
3		目標値								
		実績値								
4		目標値								
		実績値								

総合評価	B：順調

事前分析

施策分野におけるこれまでの取り組みの概要	低所得世帯上下水道料金の助成、成年後見の推進、福祉団体等への補助、戦没者追悼事業の実施、地域福祉計画の策定、福祉施策推進・評価委員会事務局、福祉会館指定管理委託、福祉会館の施設整備、地域福祉基金の活用、法定外援護の実施
施策分野における背景・環境及び抱えている課題	・住民の家族構成、心身状態、経済状況、価値観やニーズが多様化し、支援が必要な者（世帯）の課題が複雑かつ複合的になっている。 ・平成30年４月施行「改正社会福祉法」において、高齢、障がい、子ども、生活困窮など各福祉分野が制度を超えて横断的に対応できる体制や、地域生活課題に対する多機関の協働による包括的な相談支援体制の整備が必要とされている。 ・認知症や精神障がいなどで判断能力が不十分な方の権利や財産が侵害されることのないよう、成年後見の推進が求められている。 ・成果指標１について、現状値及び令和３年については、地域福祉計画策定に伴うアンケート結果を使用したが、令和４年は住民意識調査のアンケート結果を使用したことにより、目標値との間に差が生じた。
施策分野における改革・改善内容及び今後の見通し	・多様化するニーズに重層的に対応し、町民が安心して生活できるよう重層的支援準備室をはじめとする庁内関係部署や民間事業者等と連携し、重層的支援体制の整備を図る。 ・安心して生活できる地域を目指し、地域福祉の拠点である「社会福祉協議会」と町との一体的な施策検討と実施を進めながら、地域住民のつながりや居場所づくり等を行う。 ・地域の身近な相談役である民生委員の活動について、支援が必要な町民と行政等関係機関との連絡調整がよりできるよう、民生委員・児童委員協議会の組織体制や活動内容について検証を行う。 ・「低所得世帯上下水道料金助成事業」は、ライフライン費用の助成であることや対象者が他制度と重複していることから、事業実施の必要性や可否も含め、対象者の把握方法や周知方法などについても検討する。